

- 東大和市では、市の北部に位置する狭山丘陵の豊かな自然の保護及び市民の「憩いの場」を提供するために、昭和59年に東大和市立狭山緑地を開設し、その役目を果たすために、整備及び植生の維持管理を行っている。
- 令和2年度は、緑地内の間伐を行ったが、令和3年度においては、以下の取組を実施した。
 - 幼児向けの木製複合遊具1基及び木製テーブルベンチを2基設置した。

□ 事業内容

1 木製遊具等設置工事

- 狭山緑地のフィールドアスレチックに国産材を使用した幼児用木製複合遊具1基及びテーブルベンチを2基した。

【事業費】8,800千円（うち譲与税7,023千円）

【実績】木材使用量 0.828m³



(1：東大和市立狭山緑地位置図)



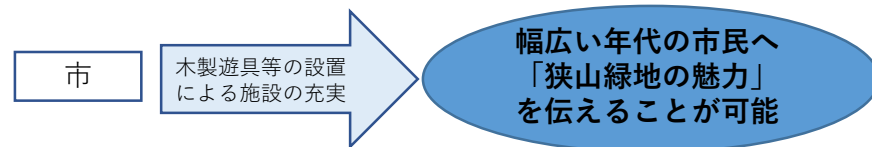
(2：木製複合遊具)



(3：木製テーブルベンチ)

□ 事業スキーム

1 木製遊具等設置工事



□ 工夫・留意した点

- 遊具設置にあたり、位置及び遊具の選定を検討した。
幼児向け遊具が施設内にないため、幼児向けを選択した。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	7,023千円
②私有林人工林面積（※1）	2ha
③林野率（※2）	15.1%
④人口（※3）	83,901人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、
※4：「H27年国勢調査」より